

浅野史郎さんから、「えにし」を結ぶ会に寄せられたメッセージ

今年の「えにしの会」には、ぜひ、参加したいと思っておりましたが、ATL（成人T細胞白血病）という病気の予後で、現在は自宅療養中です。感染症罹患の心配をしなければならぬ時期であり、会合に出ることについての主治医のお許しが出ませんので、出席が叶いません。とても残念です。せめては、このような形でメッセージを託して、皆様への挨拶に代えたいと存じます。

えにしの会の魅力は、いろいろな人に会えるということです。医療・福祉という分野で活躍している人とえにしを結ぶことができる。生身の人間からの生きた情報を得られるだけでなく、勇気をもらえる、やる気を授かるといった効用も、まちがいなくあります。

集う人たちの生き方が魅力的です。名誉欲、金銭欲を満足させようという人は皆無で、それよりも、知りたい、知らせたいという思いを身体一杯に詰め込んだ人たち、福祉・医療分野で、何かを実現したいという目的意識で固まっている人たちばかりです。そこに「一緒に」ということが加われば、とんでもない大きな力を発揮するのです。

今回、死ぬか生きるかという大きな病気を得て、えにしの会のありがたさ、まさにえにしとは、こんなに力を与えてくれるものかを知ることになりました。えにしの会のネットワークを通じて、私の病気を知った人たちから、数々の励ましの言葉をいただきました。その際の情報のコーディネートをいただいた縁結びは、もちろん、ゆきさんです。改めて、心から御礼申し上げます。

病気と戦っている私にとって、えにしの方々からの応援メッセージは、単なる言葉上のことではなくて、実際に大きな勇気を与えてくれるものでした。一人で戦っているのではないと認識することは、病いと戦う患者に対して、どれだけの力を付与してくれるのか、今回、しみじみ実感しました。じっと祈ってくださった方を含めて、えにしの方々から心から感謝申し上げます。

来年の「えにしの会」には、ぜひとも参加したいと思っています。皆様方のご活躍と、

今日の会合が実り豊かなものになりますよう祈念いたしております。

2010年4月24日

浅野 史郎



（写真左端は2008.4.26の「えにし」の会
第3部「恋するようにボランティアを～優しき挑戦者たち～」で
絶妙な無言/目力のタイムキーパーボランティアの特技でみんなを笑わせている浅野さん）